

## ○来賓挨拶

杉本明文（兵庫県副防災監）

東日本大震災から1年が経ち、兵庫県も関西広域連合の一員として被災地の支援にあたり、相応の成果が上がり、一定の評価を得ていると思っています。

それは、同じ大きな被災地である兵庫県が阪神・淡路大震災で多くの支援を受けたことに感謝し、その恩に報いるということだけではなく、同じ大きな災害を受けた者の経験、教訓が被災地の現場で生かされたことが評価につながったと考えています。

これまで、被災した者の責務として、経験、教訓をしっかりと受け継ぎ、将来に伝えていこうという取り組みを続けてきたことが、東北の支援にもつながった。その意味で、災害の記憶を将来に向けて伝え、災害文化を世界各地に根づかせていこうというこのT e L L - N e tの取り組みには、大いに期待をしていますし、また、我々としても引き続き手を携えて、取り組みを進めていきたいと思っています。

このT e L L - N e tの取り組みが発展されますように、また、今日のこのフォーラムが非常に有意義なものになりますように祈念いたします。